

心のスクール検討委員会について

1. 目的

不登校や不登校傾向の児童生徒は、環境や学校生活に不適応を起こしていることが考えられるため、早期に手立てを打っていく必要がある。医療的な視点からの助言をもとに、児童生徒や保護者への対応・支援に活用していく。

2. 内容

- 各学校の不登校の実態調査・データベース構築・情報共有
- 介入が必要な事例について、適宜カンファ・各医療機関への紹介・調整
- フォローの不登校児童・生徒の経過報告
- 不登校のメンタルヘルスについて勉強会を定期的開催
- 地域の不登校支援リーフレット・ガイドブックなどの作成

3. 委員会メンバー

- 医師会：精神科医、小児科医（高山市医師会 7 名）
- 医療有識者：須田病院医師、発達外来に関わるリハビリ療法士
- 教育委員会：教育長、学校教育課長、教育委員会担当者
- 学校関係者：スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、担任、教育相談、生徒指導など対象児童生徒の在籍する学校から必要に応じて参加

4. 開催頻度

- ・実施月は、年度始めや長期休み明けなど、児童生徒が不調をきたしやすい時期を考慮し、5月、7月、9月、11月、2月を計画している。
- ・不登校または、不登校傾向として新規であがってくる児童生徒は毎月いることから、定期的に会を開催する。また、支援が有効だったかを検討し、次の支援に生かすために、継続して会を開催する。